

◆ 議長記者会見概要

日 時：令和3年7月2日（金）16：00～16：15

場 所：県議会理事者控室

出席者：荻田義雄議長、和田恵治副議長



荻田義雄議長

和田恵治副議長

(写真撮影のため、マスクを外しています)

<就任にあたって>

荻田議長

この度の議長選挙により、多数の議員各位のご支持をいただき、議長に選出されました。私自身も責任の重大さをひしひしと噛みしめながら、身の引き締まる思いです。

県議会での取組としては、開かれた議会運営を目指して、政策提言や情報公開等積極的に取り組んでまいります。また、県民の皆さま方にとって、分かりやすい議会運営となるよう、引き続き取り組んでまいります。

さらに、二代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者と十分な議論を尽くしながら、県民の皆さま方にとって、より良き県勢の進展につながるように、職務を全うしてまいります。

県民の皆さまはじめ、知事、そして市町村長並びに報道機関の皆さま方には、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、心からお願いを申し上げます。

和田副議長

議長同様、副議長に選ばれて、誠に光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いです。

これから議長を補佐し、円滑に議会運営ができるように尽くしてまいりますので、よろしく申し上げます。

コロナ禍の中で、奈良県政は本当に舵取りが難しい状況になっています。県政が円滑にいくように尽力します。ガストロノミーツーリズムや、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録申請など、奈良県が関係する世界発信のイベントが目白押しとなっています。県政の運営も含めて、副議長としても取り組んでいきたい。

Q：議会運営という点では、昨年行われた国勢調査の速報値も出ましたので、2年後に控えている県議会選挙に向けた定数問題が今後出てくると思います。定数問題に対するお考えはいかがでしょうか。

荻田議長

前議長の時からの課題である定数検討については、国勢調査の速報値も出ましたので、今後定数は是正等含めて検討します。

Q：先ほど、二代表制という言葉がありましたが、議長として、今後知事とはどのような形で対峙していかれますか。

荻田議長

たとえば、コロナ対策について、議会としては各会派から緊急事態宣言を発出してほしい旨の要望書を知事に出したのに対し、知事は緊急対処措置が良いとしてそれを実行されました。

このように、意見を集約したり、お互いに意見の調整する機会を持ったりするなど、立場にとらわれず是々非々として判断する局面も出てくるかと思いますが、県民目線で考えて進めてまいります。